

幹事会・運営委員会報告

庶務幹事 前田裕宣、坂井信彦

平成6年度から7年度への会計年度更新に伴いまして、運営委員の半数が改選されました。また会長も2年間の任期満了に伴い第Ⅲ期運営委員会にて菊田会長が再選され、新会長よりの第Ⅱ期幹事が指名されて、新たな活動が始まりました。これらの再編成にともなう、下記の会合が開かれました。

第Ⅰ期幹事会(第5回)

日時：平成7年4月27日 午前10時30分～12時

場所：航空会館 第3研修室（東京、新橋）

出席者：菊田，坂井，菅，虎谷，坂田，前田，難波，下村，村田，塩谷，
鈴木（財団），中井（財団），佐久間（事務局）

議事内容

第Ⅲ期運営委員会（第1回）開催に先立ち、平成6年度SPring-8利用者懇談会の全般的な活動報告が会長から、また現状報告が各幹事からなされた。報告内容は引き続き開かれた第1回運営委員会での報告と同一であるので、詳細は「第Ⅲ期運営委員会（第1回）」を参照していただく。ここには項目のみを記録する。

1. 会長報告

- ・平成6年度SPring-8利用者懇談会の活動報告
- ・現会員数は921名となった。

2. 各幹事報告

庶務：坂井

- ・3月末に事務局担当の稲垣富美さん（2年間勤務）が退職した。
- ・4月より事務局が神戸より西播磨財団事務局内に移転し、新事務局員として佐久間明美さんを採用した。今年度より事務局員の身分を財団の非常勤としていただく事となった。
- ・新会員入会申請者が15名あった。

会計：虎谷

- ・平成6年度の利用計画調査協力の会計に関する報告。
- ・平成7年度の予算の見通しについての報告。
- ・平成7年度の会費納入方法の変更（郵便振込から銀行自動引き落とし）について

の報告.

編集：難波

- ・ 平成6年度，広報誌「光彩」は1994. 7月，11月，および1995. 3月の3回発行した旨報告.
- ・ 次回は1995. 7に発行予定.

行事：坂田

- ・ 運営委員会に諮る後援共催援助についての説明があった.

利用：村田・下村

- ・ 1995年度の報告書業務が震災の影響で大幅に予定が変動したが、4月25日終了した旨報告.
- ・ 来年度以降は，報告書作成のためのマニュアルを整備して，幹事の負担を軽減する工夫が必要との事.
- ・ 利用研究課題SGについて
昨年度末現在で34のSGが登録されている.
- ・ SGメンバー登録について
平成7年度にSGメンバー登録について，再度確認を取り直す作業を行う予定.
- ・ SG活動記録
平成6年度には計22回のSG会合が開かれた.
- ・ 世話人会
平成6年度には世話人会は2回開かれた.

運営：塩谷

- ・ 科技厅等への提言をしているが、具体的な整備が進まない.

3. 審議事項

- ・ 「学術的会合の主催等に関する規程」(案)を，多少の字句の修正後幹事会として承認した.

4. 事務局報告

電話・FAX番号の変更、住所等現地状況について.

第Ⅱ期運営委員会(第1回)

日時：平成7年4月27日 午後1時～3時30分

場所：航空会館 第3研修室 (東京・新橋)

出席者：雨宮、尾島、菊田、坂井、坂田、佐藤、下村、菅、難波、水木、前田、

渡辺、虎谷、村田
大野、植木（共同チーム）、白川（財団）、
オブザーバー；鈴木、中井（財団）、佐久間（利用者懇談会）。

議事進行に先立ち新運営委員の紹介があった。ついで本年度の議長に渡辺委員を互選した。

[報告]

<会長>：平成6年度活動報告

菊田会長より以下の報告があった。

1. 会議を下記日程で開催した。

総会	平成7年1月13日
運営委員会	平成6年4月28日（第1回）、7月30日（第2回） 平成7年1月12日（第3回）。
SG世話人会	平成6年4月28日（第1回）、12月9,10日（第2回拡大）
幹事会	平成6年4月28日（第1回）、7月29日（第2回）、 11月12日（第3回）、平成7年1月12日（第4回）。
SG会合	多数回。

2. 原研・理研共同チーム、高輝度光科学研究センターとの交流を進め、委託業務を実施した。
3. 法律整備に基づくSPring-8の利用体制・運営体制の肉付けに対する利用者の立場からの提言をした。特に高輝度光科学センターの研究所としての体制の整備が重要であることを強調している。
4. 高輝度光科学センターの関連委員会への委員候補の推薦を行った。
5. SPring-8における大学関係研究者の共同利用の円滑化のためには、ビームライン使用料、旅費・研究経費・出張形態、専用ビームラインなどについて明確な見通しを得る必要があり、関係省庁へ対応を要請している。
6. 共同利用ビームライン計画に対して、(1)各SGからビームライン計画の提案、(2)実験ステーション建設への各SGの協力をを行う一方、(3)平成10年度までに多数のビームライン計画の前倒し着手、(4)平成10年度以降の計画におけるビームラインの早期整備を要望している。
7. 30m長直線部の利用の早期実現のため、シンポジウム「長直線部の利用について」を開催し討論した。
8. SG組織の強化を図るため、拡充改組・分離統合、新SGの立ち上げを促した。
9. 「放射光科学合同シンポジウム」（平成7年1月10～13日：つくば市）を共催した。
10. 講習会「SPring-8における各種放射光源のパラメーターについてⅡ」を共催した。
11. 広報誌「光彩」の第4～6号を発行した。
12. 1994年度版会員名簿を発刊した。
13. 会員、特に企業関係者の勧誘に努めた。

<各幹事報告>

庶務：坂井

- ・ 3月末に財団が西播磨に移転し、当事務局も西播磨財団事務局内に移転した。
- ・ 4月より事務局の事務担当者に稲垣さんの後任として、佐久間さんを採用した。身分は財団の非常勤職員である。
- ・ 4月26日現在の会員数は921名である。
- ・ 新会員入会の当運営委員会での承認のため申請書（15名分）を回覧。

行事：坂田

- ・ 会長報告にすべて含まれている。

編集：難波

- ・ 「光彩」を1994年7月, 11月, 1995年3月に発行した。次号発行予定は7月。季刊にすることを検討中である。

会計：虎谷

- ・ 平成6年度の各種会合の開催と、ライフサイエンス研究分野および材料科学研究分野に関する予算・決算を報告。
- ・ 平成7年度の予算の見通しについて報告。財団から当事務局への委託調査金の使用方針が述べられ、これに対して運営委員との意見交換があった。次回運営委員会にて具体的提案を行う。
- ・ 平成7年度の会費納入の銀行自動引き落としの作業が進行中で、現時点で56名の手続き申し込みがあり、今後増加する見込みである。

利用：下村

- ・ 利用研究課題SGとして現在34グループが登録されている。最近「超高压SG」が「極限構造物性SG」と「高压地球科学SG」に発展解消した。
- ・ 各SGで今後のBL建設に参加する可能性のある人数を把握したいので平成7年度に再確認の調査を実施する予定である。
- ・ 平成6年度のSG活動で会合数は比較的少なかった。多くのSGがBL提案課題を提出済みであったためと思われる。平成7年度にはBLの具体化にともない会合数が増加することが予想される。
- ・ 世話人会は平成6年4月28日（東大総合図書館）および12月9, 10日（姫路商工会議所）に開催した。12月は拡大世話人会であった。

利用：村田

- ・ 1995年度の英文報告書の編集の最終作業が4月25日に終了した。報告書の内容はSGからのレポートを主体とした。震災の影響もあり編集スケジュールが大幅に狂い、レポートの体裁整理作業にかなりの時間を要した。来年度以降は、報告書作成のマニュアルを整備して、幹事の負担を軽減する工夫が必要である。共同チーム発行の「Annual Report」との関連も明確にしたい。

[議事]

1. 第2期会長の選出

菊田会長の任期満了にともない新会長を会則第9条に従い、運営委員の中から互選することとし、満場一致で菊田委員を会長に選出した。

新会長より今年度の活動方針の説明があった。また、新幹事の指名については、後日指

名結果を運営委員会に報告することが承認された。

2. 学術的会合の主催等に関する規定について

坂田行事幹事より提案（別紙資料）があり、一部字句の訂正および（備考）文は規約に含まれないこととして承認決定された。

3. 新会員15名の入会を承認した。

[その他] SPring-8 の現状と今後の動向

1. 原研理研共同チーム（利用系グループ）大野サブリーダーより以下の状況報告があった。

(1) 共同利用ビームライン（BL）の選定がBL検討委員会でなされており、5月17日に10本のBLが決定する。そこでは複数の実験ステーションの併設の可能性も含めて検討されている。それに伴いこれまで提案されたものとは異なった名称になるであろう。

(2) 共同利用BLの建設は4計画については平成6年度に挿入光源、フロントエンドが発注された。残り6計画については挿入光源、フロントエンドならびに光源系については可能なものは標準化で対応し、実験ステーションは個別対応としたい。平成7年度に3年間債務負担行為で10計画すべてを発注する可能性がある。

2. 財団（高輝度光科学研究センター）白川企画調査部長より以下の状況説明があった。

(1) 平成7年度の財団の活動報告：利用研究課題選定委員会（諮問委員会）、技術支援方策検討委員会、専門施設検討委員会がそれぞれ設置され、審議検討が進められている。

(2) 財団理事会等について。

(3) 平成7年4月1日に財団事務所を西播磨へ移転した。

(4) 3月26-31日にアジア・オセアニア各国の放射光施設等へミッションを派遣した。

(5) 財団の組織について。

(6) 5, 6月にかけて各種委員会、財団理事会等が多数開かれる予定である。

第Ⅱ期幹事会（第1回）

日 時： 平成 7年 4月27日 午後3時30分－4時30分

場 所： 航空会館 第3研修室

出席者： 菊田，坂井，菅，虎谷，坂田，前田，難波，下村，村田，
鈴木（財団），中井（財団），佐久間（事務局）

・ 第Ⅲ期運営委員会（第1回）で再任された菊田会長より新幹事の人選に関して、特別の事情のある方をのぞいて続けて欲しい旨の話があった。その後、新幹事指名について意見が交わされたが、判断は会長一任とし、結果を次回運営委員会で報告することとした。

・ 夕刻の財団との懇談会での話題項目について意見交換をおこなった。

第Ⅰ期幹事会(第2回)

日時：平成7年6月22日(木)午後1時30分～4時30分

場所：東京大学工学部6号館107号室(途中より中会議室に移動)

出席者：菊田、坂井、虎谷、坂田、徳永、圓山、下村、松井、渡辺(巖)、前田
鈴木(財団)、佐久間(事務局)

議事内容：

1. 各幹事報告

会長：菊田

- ・新幹事の紹介；圓山(編集幹事)、渡辺(巖)(利用幹事)、徳永(行事幹事)。
- ・第Ⅰ期幹事会の方針を継承する。状況としては利用ビームライン(BL)の建設遂行が目前に迫り、幸い10本のBLに20以上のサブグループが参加出来るようになったので、他の利用者グループにとっても将来作業が効果的になる方向で努力したい。
- ・利用の円滑化に対して関係省庁に働きかけたい。具体的な方法は今後議論をして行きたい。

庶務：坂井

- ・現在の会員数は910名(新規加入者で運営委員会未承認分を含む)。
- ・会費払い込みの銀行口座振替手続きが終了。今回271名が登録。

行事：坂田

- ・第2回合同シンポジウムについて；第1回組織委員会が開かれ、平成8年1月9、10、11日に竜美丘会館(岡崎市東明大寺町5番地)を会場とする事となった。プログラムはPFシンポジウムの方針決定を待って実行委員会で作成する。
- ・物性研で計画中の放射光施設の利用者団体の会合が合同シンポジウムに加わる可能性がある。
- ・合同シンポジウムでのSPRING-8利用者懇談会の持ち時間については未定で、組織委員会で調整するであろう。

編集：圓山

- ・「光彩」の次号は7月末日に送付終了を予定して作業している。
- ・季刊発行に増刊する件については難波編集正幹事の判断に一任する。

利用：下村

- ・BL検討委員会の答申に併設案が盛り込まれ10ヶ所のステーションが建設される可能性が高まった。併設案に関連したSGは6月中に建設計画の資料を提出する事になった。
- ・SG間の連絡が不足しているのでSG世話人会を7月中に行い意見交換をしたい。
- ・建設作業参加研究者の実体を科学技術庁が文部省に説明するための必要資料を当懇談会が準備する。
- ・会員のSG登録について；建設作業を踏まえたSG参加者を把握したい。
- ・SG活動の報告書の形式は、7月中に懇談会と財団との間で検討を行う。

<ここにて中会議室に移動>

2. 平成7年度予算案について。

- ・ 虎谷会計幹事より平成7年度会費収入見込み、および財団からの委託金などについて概略説明があり、予算案が提示された。主要支出はSG会合旅費、会議費、印刷製本費、通信費である。

[平成7年度予算案は次回運営委員会にて承認を受ける事となる]

- ・ 本年度予算の大きな特徴はSG活動補助を積極的に行う事とする。具体的にはSG会合での講師謝金、共催出資金、印刷物、アルバイト補助などを実施したい。

[この提案を幹事会は了承した。実施要領は文書化してSG世話人に通知する]

- ・ 「光彩」の季刊発行は予算的には可能であるので実現を期待する。

3. 情報交換；SPring-8 をめぐる最近の動向

- ・ 平成6年度報告書を近く関連各位に配布する（鈴木）。
- ・ 平成7年度にSPring-8の宿舎が建設され、中央研究棟が着工される予定である（鈴木）。
- ・ 今年度建設されるSPring-8の宿舎は1棟 single-60 室で、場所は正面入り口近くで、全4棟が予算申請に予定されていると聞いている（坂井）。
- ・ 高輝度光科学研究センター（財団）の諮問委員会高良委員長に当懇談会幹事会からの要望として(1)大学関係者等の共同利用に関する要望、(2)放射光研究所の組織に関する要望を伝えた（会長、下村）。
- ・ 文部省学術国際局の加速器科学部会（放射光ワーキンググループ）にて文部省関連の放射光施設建設の議論がなされていて、6月28日に答申される予定である。放射光利用が多様化する方向にある（会長）。

4. その他

次回幹事会および運営委員会は8月7日～12日の1日を予定する。

